

# ベットジェット®



Boehringer  
Ingelheim

2024年3月作成

貯法	室温
----	----

承認指令書番号	29動業第2740号
販売開始	2024年3月

動物用管理医療機器

# ベットジェット®

動物用一般医療機器

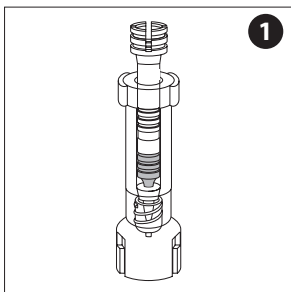
# ベットジェット®

ノズルユニット

【使用方法】

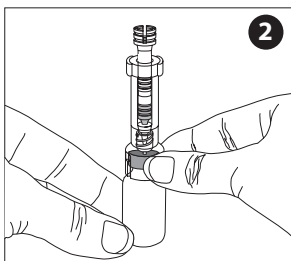
1. 使用前の作業

1.1 ノズルの装着

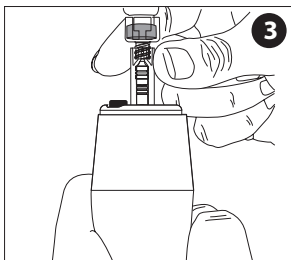


1 ノズル、ノズルプランジャー及びアダプターが組立てられていない場合は事前に1つのユニットに組立てる。ノズルプランジャーをノズルに装着し、ノズルをアダプターのルアーロック（部品を固定できる先端構造）に装着する。

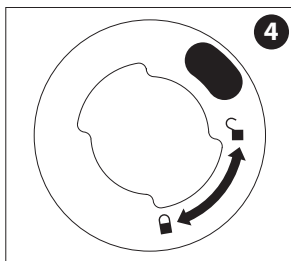
ノズルユニット S: 16kg 未満の犬  
ノズルユニット L: 16kg 以上の犬



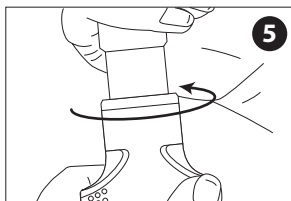
2 ノズルユニット（ノズル、ノズルプランジャー及びアダプター）をワクチンバイアルに取り付ける。この時アダプターがバイアルの蓋にしっかりと押し付けられていることを確認する。ノズルプランジャーをノズルの一番奥まで押し込んでバイアル内に空気を入れる。



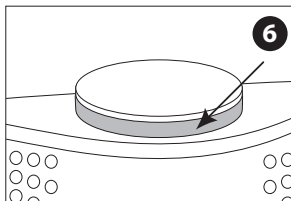
3 ノズルユニットをインジェクターにしっかりと装着する。



4 ノズルを下に押し込むと同時にカチッと音がして固定するところまでノズルを時計回りに回転させる。次に進む前にノズルが“ロック”されていない。

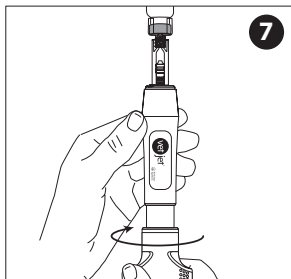


5 インジェクターを片手でしっかりと握り、回転ノブを止まるまで図の矢印の方向に回転させる。

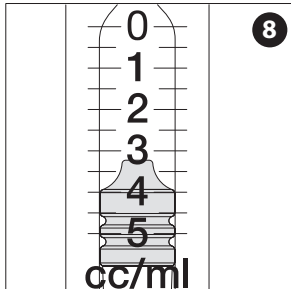


6 作動ボタンが飛び出して、赤い標識線が見えることを確認する。

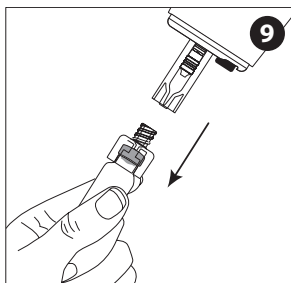
1.2 ワクチンの充填



7 作動準備が完了したインジェクターを上に向けて（ワクチンバイアルは逆さま）、回転ノブを図の矢印の方向に回転させてワクチンを吸い出す。回転ノブを回転させると、ワクチンはノズル内に入る。ノズル内に気泡が見られる場合には、回転ノブを反対方向に回転させることでバイアル内へと押し戻す。そして、再び回転ノブを図の矢印の方向に回転させてノズルに充填する。

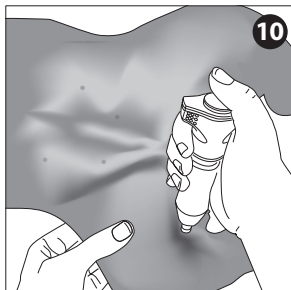


8 気泡が除かれたら、必要とする容量に調整する。オンセプト メラノーマの用量は0.4 mL である。



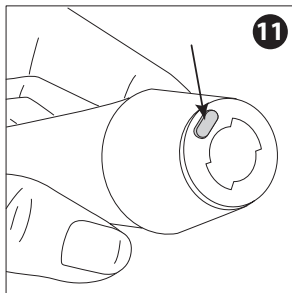
9 ノズルからアダプター及びバイアルを取り外す。ワクチンが充填されたノズルはインジェクターに装着されたままにする。ワクチンバイアル及び未使用の内容物は添付文書及び適切な医療廃棄物処理手順に従って適切に廃棄すること。

2. ワクチン投与



10 ノズルが投与部位と垂直になるようにインジェクターをしっかりと握る。皮膚にしっかりと押し当てて作動ボタンを押す。  
 ・インジェクターはワクチンが投与されるまで（1秒数える）投与した位置に固定しておく。  
 ・ワクチンの投与を行う際には無菌的に行うこと。  
 ・ワクチンの添付文書に指示されている投与手技及び投与部位を用いること。  
 ・ワクチン投与時に獣医臨床で標準的に使用される適切な動物の保定法を用いること。

### 3. ノズルの取り外し



ノズルロックボタンを押し、ノズルを反時計回りに回転させてロックを解除する。インジェクターからノズルを引き抜く。ノズルプランジャーの軸を引っ張り、ノズルとノズルプランジャーの軸を廃棄する。投与後、インジェクターの保管の際は機器のバネによる圧力を軽減するために、回転ノブが回転していない状態にすること。

#### 【使用及び取扱い上の必要な注意】 (基本的事項)

##### 1. 守らなければならないこと

###### (取扱い及び廃棄のための注意)

- ・インジェクターを廃棄する場合は、「廃棄物処理に関する法律」に従い適切に処理すること。
- ・DNA ワクチンの容器及びノズルユニットは地方公共団体条例等に従い処分すること。

##### 2. 使用に際して気を付けること

###### (使用者に対する注意)

- ・本医療機器は、「オンセプト メラノーマ」の投薬器としてのみ使用すること。
- ・ノズルが正しくインジェクター本体に装着されていることを確認すること。ノズルがインジェクター本体から勢いよく外れ、症例や使用者が負傷することがある。
- ・ノズルに DNA ワクチンが入っていない状態で投与をしないこと。インジェクター本体が損傷や、ノズル部分が破損する場合がある。
- ・インジェクターは DNA ワクチンの筋肉内投与用としてのみ使用すること。
- ・DNA ワクチンを大気中または動物の被毛に注入しないこと。DNA ワクチンが適切に投与できないおそれがある。
- ・DNA ワクチンを投与する準備が整うまで、作動ボタンを押さないように注意すること。
- ・作動中のインジェクター本体からノズルを取り外さないこと。
- ・インジェクター本体を水または他の溶液に浸さないこと。

##### (専門的事項)

###### ①警告

- ・インジェクターに DNA ワクチンを充填後、きちんと気泡を除いて投与すること。気泡が残っていると適切に投与されない場合がある。気泡が残っている場合、空砲音がすることがある。
- ・投与後、投与部位が湿っている等、適切に投与されなかったことが疑われる場合には、再投与すること。

###### ②禁忌

- ・アダプター、ノズル及びノズルプランジャーはディスポーザブル製品であるため 1 回限りのみで再使用しないこと。

###### ③重要な基本的注意

- ・人には使用しないこと。
- ・本医療機器に熟練した者以外は装置を使用しないようにすること。
- ・インジェクター本体のノズルを DNA ワクチンバイアルの上に直接置かないこと。
- ・血管が走行している部位には投与しないこと。血管を傷つける場合がある。

- ・投与時はインジェクターを皮膚に垂直に立て、密着させてから投与すること。インジェクターを皮膚に対して斜めに傾けた状態で投与すると、裂傷を生じ、投与した DNA ワクチン液が外部に漏れる場合がある。
- ・ノズルがインジェクター本体にロックされた状態で作動ボタンが押されると DNA ワクチンが排出される。インジェクター本体の使用の準備が整うと、本体が皮膚に密着していなくても(作動ボタンが誤って押された場合でも) DNA ワクチンは経皮的に皮下に到達する可能性があるため、直ちに使用すること。
- ・インジェクターを他の人や動物に向けないこと。
- ・インジェクター本体の端に物や指を入れないこと。
- ・インジェクターは耐用回数を超過して使用しないこと。

#### 【使用期限】

ベットジェット (インジェクター)	[使用回数(耐用回数)] 3,000 回 [使用期限] 使用開始から 3 年
ベットジェットノズルユニット S サイズ	[使用回数] 単回使用 [使用期限] プリスター・外箱に記載
ベットジェットノズルユニット L サイズ	[使用回数] 単回使用 [使用期限] プリスター・外箱に記載

#### 【包装】

ベットジェット (インジェクター)	1 本 / 箱
ベットジェットノズルユニット S サイズ	5 個 / 箱
ベットジェットノズルユニット L サイズ	5 個 / 箱

#### 【お問い合わせ先】

ベーリンガーインゲルハイム アニマルヘルス ジャパン株式会社  
〒141-6017 東京都品川区大崎 2-1-1  
TEL: 0120-499-419

#### 製造販売元

ベーリンガーインゲルハイム  
アニマルヘルス ジャパン(株)  
東京都品川区大崎 2-1-1